

教育福祉分科会会議記録（概要）

平成26年3月7日（金）

開 会 午後1時0分

（席次の決定）別紙のとおり

西沢分科会長

ここでお諮りします。議案第9号「平成26年度所沢市一般会計予算」の審査にあたり、委員より、こども未来部所管部分（放課後児童対策一体運営事業）に係る現地調査を行いたい旨の申し出がありましたが、平成26年3月10日（月）に所沢市立中富小学校へ現地調査を行うことよろしいか。

（委員了承）

【議 事】

○議案第17号「平成26年度所沢市病院事業会計予算」

【補足説明】 な し

【質 疑】

城下委員

予算書8ページについて、平成26年度に新たに付け加えられた項目があれば伺いたい。

小峯総務課長

6節の賞与引当金繰入額、7節法定福利費繰入額が平成26年度から新たに設けた節です。

城下委員

新たに設けた理由及び今後について伺いたい。

小峯総務課長

新しく公営企業会計の制度が変わり、引当金が計上されることになりました。引当金とは将来にわたって費用が見込まれるものについて計上するもので、この賞与引当金繰入額及び法定福利費繰入額は、平成27年6月に払う賞与、及びそれに伴う法定福利費について、平成26年度の勤務相当額分を計上した項目になります。これらは、毎年計上を行う性質のものです。

城下委員

予算書の11ページにおける特別損失についてはどうか。

小峯総務課長

その他特別損失に計上した手当等及び法定福利費について、前年度勤務分として支給する賞与に相当する額を、会計基準の見直しに伴い、特別損失として計上しているものです。これについては、今年度のみの計上となります。退職給付費についても、平成25年度分に係る職員の退職手当に相当する金額から、埼玉县市町村総合事務組合への積立金を除いた額を計上しています。こちらも今年度のみの計上となります。

城下委員

平成25年度と比較して、平成26年度の事業の特徴をお示しいただきたい。また、地域医療連携にも力を入れており、医療ソーシャルワーカーを配置してそういった事業に取り組んでいるわけだが、地域医療連携への平成26年度の取り組みとしては、どういったことを想定しているのか。

小峯総務課長

これまで、第一次所沢市市民医療センター改革プランに基づいて、多々事業を行ってきました。この5年間の主な実績としては、地域医療連携部門の立ち上げや、小児初期救急医療体制の確立、また、人間ドックの内部業務の委託化による人件費の削減、並びに人間ドックの検査項目の見直し等があります。収支の面で黒字化できなかったことから、平成26年度については、ある程度、収支の改善に向け収入の増加と支出の削減を図ることとしています。その方策として地域の開業医の方との結びつきを強化するとともに、在宅医療の後方支援病院として患者の方を医療センターへ紹介してもらおう等、入院患者の増加を図る取り組みを進めていく予定です。

それについて、医療ソーシャルワーカーのほかに、現在、看護師等が交代で地域医療連携の一部業務を行っており、来年度は看護師2名の採用を予定していますので、看護師1名が、常時、地域医療連携室にいるような形で配置し、紹介等の受け入れが円滑にいくように対応することを考えています。

末吉委員

人間ドックについて、昨年では、1万250人の受け入れ予定であったが、来年度予算では1万600人を見込んでいる。この350人の受け入れ増加に関して、どのように考えているのか伺いたい。

小峯総務課長

人間ドックの受診者数は、ある程度固定化していますが、年間を通して比較的受診が少ない月、例えば4月、5月ですが、そういった時期の利用についても促し、受診者の増加等を図っていきたいと考えています。現在においても、ところバスや市庁舎におけるポスター掲示、コミュニティビジョンでのPRや前年度受診者への勧奨ハガキの送付等を行っていますが、今後も引き続きPRを行っていきたいと考えています。

末吉委員

人間ドックの受診に際しては、受付時に混雑があったが、その混雑の緩和策について伺いたい。

小峯総務課長

これまでのやり方においては、どうしても午前8時30分に受付が集中

してしまったということがあり、1月受診者分から、ご案内の通知として、午前9時20分頃からお越しただければ比較的空いており、スムーズに受診できる旨を伝えるチラシを入れました。その結果、統計によると、以前、午前6時30分から午前8時30分までの間に50人の方が受付をしてお待ちになっていましたが、そのチラシを入れた後、午前6時30分から午前8時30分までの間に約30人、また、午前8時30分から午前9時20分までの間に約20人の方がお越しになるということになりました。分散をした結果、後から来ている方についても受診がスムーズに行えていますので、チラシの効果はあったと考えています。

末吉委員

現在、人間ドックではさまざまなオプション検査を実施されているかと思うが、何か新しいものが入ったのか。また、例えば、複数のオプション検査を受ける場合に、セット割引といったことを検討されたことがあるのか。

小峯総務課長

平成26年度から予定しているオプションは血圧脈波検査です。オプションを複数受けた場合の割引について、オプションは各健康保険組合から補助等が出ていること、また、所沢市市民医療センター使用料及び手数料条例において指定検診料の算定方法を定めていますので、これまではセット割引等について検討したことはありませんでした。今後、利用者の需要を見て、例えば、婦人科検診セットといった形でできるかどうか、検討し

たいと思います。

小笠原市民医療センター事務部長 オプション検査は、所沢市市民医療センター使用料及び手数料条例に基づき料金の算定方法が決まっていますので、それを割引することは難しいかと思います。ただ、一つのコースのようなものを設定し、例えば、それを条例に盛り込む等、そういう方法も考えられるかとは思いますが。オプション検査について、平成25年度はABC検診ですが、平成26年度は血圧脈波検査の実施を予定する等、利用者のニーズに沿ったオプション検査の充実を検討していき、収益の増加を図っていきたいと思います。

亀山委員 平成26年度に新たに導入予定のオプションの金額は、どのぐらいを考えているのか。

小峯総務課長 血圧脈波検査は、税抜2,500円での実施を予定しています。

浜野委員 看護師が2人増える予定であるとのことだが、平成26年度の会計では看護師が33人と記載されている。この2人の配置分についてもこの33人の中に入っているという理解でよいか。

小峯総務課長

そのとおりです。

浜野委員

看護師2人を増やし、1人を病床へ向けるとのことだが、病床の稼働率は現在と比べて何パーセント上昇すると考えているのか。

小峯総務課長

平成26年度の予定としては、1日あたり28人として算出していますので、58%の病床稼働率を目指しています。

浜野委員

平成25年度に比べ、何パーセントの上昇となるのか。

小峯総務課長

平成25年度についてはまだ最終的な数値は出ていませんが、大体51%として見込んでいますので、約7%の上昇と想定しています。

浜野委員

収益を上げるために2人増やすという考え方なのか、それとも、現在必要であるから2人増やすという考え方なのか。

小峯総務課長

地域医療連携の充実ということも一つにはあります。これを充実させることにより利用者が増える効果も期待できますので、それに向け看護師を

採用し、取り組みを強化することで病院の利用者数の増加を考えています。

浜野委員

売り上げをどう見込むかであるが、地域医療連携の関係で病床の稼働率が上がらなかった場合、看護師が増えるだけという危険負担が出てくるのではないかと思うが、どう考えているのか。

小峯総務課長

看護師については、今年度においても3人を採用しましたが、昨年度末で自己都合により2人が退職しました。現在では、2人足りていない状況です。今回はこの2人を充足するという事で採用を依頼しています。

城下委員

地域の開業医との連携は、入院している患者の方が、実際問題として、3カ月ごとに次の病院を探さざるを得ないという現在の状況の中、そういったいわば行き場のない患者の方を受け入れるという意味合いもある取り組みであるかと思っているが、病床の稼働率を7%の上昇と見込んだことについては、この地域医療連携の強化により稼働率を上げていくという理解でよいか。また、市民医療センターは小児救急等、いわば不採算部門を担っているものであり、地域の市民の命を守る拠点として頑張ってもらっているわけであるが、国の医療制度改革の影響をもろに受けるわけであり、診療報酬の引き上げ等に関する国の動向等について、どのように見ているのか。

小峯総務課長

病床利用率の上昇については、地域医療連携部門の体制が強化されることにより、連携が円滑に行えるようになると考えていますので、それにより利用者数の増加を図っていきたいと考えています。また、診療報酬については、一昨日に告示が出されたばかりであり、この度の予算には盛り込んでいません。

浜野委員

地域連携の取り組みはわからないでもないが、入院を受け入れるにあたり、専門の病気に対応する専門の診療科目があればともかく、市民医療センターにおける診療科目は、内科、小児科及び放射線科であり、それだけの医療体制の中で、ニーズが出てくるのか。

小笠原市民医療センター事務部長

厚生労働省においても進めていますが、在宅医療を推進するために、一般の開業医が定期的に往診を行うことを進めています。例えば、そういった在宅医療により治療を受けている方の具合が悪化し、入院が必要になった場合、市民医療センターは入院の受け入れ先となる等の後方支援病院として引き続き携わっていきたいと考えています。また、昨年9月に厚生労働省から在宅療養支援病院として認可をいただき、現在、所沢市医師会の在宅医療ネットワークに加入をしています。そのネットワークの中で、開業医から市民医療センターを入院先としてご紹介をいただく等、紹介入院患者の方もかなり増えてきています。地域医療連携に係る手続き、相談、受け入れ、退院支援といったものをより円滑に進めていき、地域医療連携

部門をさらに強化することを考えています。

浜野委員

理屈は分かるが、内科診療だけで、在宅の入院のニーズに対応できるのか。いろいろな症状の方がいれば、市民医療センターでは対応できないこともあるのではないかと思うが、そうするとコストだけが生じ、民間であれば相当上手に対応できるが、市職員においてはこの固定費は相当苦しいものになる可能性があると感じる。この点についてはどう考えているのか。

小笠原市民医療センター事務部長

職員の人件費は大きなものになります。それゆえ、当然、それに見合った分の収益がなければいけないと考えています。市民医療センターにおいては、入院は内科のみですが、在宅医療に関しても、市民医療センターで受け入れられる患者の方をネットワークの中で積極的に受け入れていくという方向で進めていきたいと考えています。

浜野委員

このことに関して、正規職員による運用と臨時職員による運用という考え方があるかと思うが、臨時職員を活用するという考え方はなかったのか。

小峯総務課長

採用にあたっては、看護科と協議を行い、看護科としては当初正規職員3人を希望していましたが、1人については臨時職員で対応することになったものです。

浜野委員

看護科との協議でそのようになったということは、協議次第では3人が臨時職員でもあり得たということか。

小峯総務課長

病棟のほかに、外来、小児科の急患診療、健診においても看護師が対応しています。3交代制で夜勤業務があると、実際に臨時職員を募集しても残念ながらなかなか充当できないのが現実です。来年度においては、退職者はいませんが、その後は退職者が2人、3人と続きますので、そういったことも含め種々検討した結果、このような人数の採用といたしました。

浜野委員

来年度、退職者が3人いるのか。

小峯総務課長

来年度ではなく、平成27年度、28年度において退職者が続きますが、臨時職員を募集してもなかなか現状では夜勤等もある業務については採用ができないこともあります。また、退職した職員については、再任用として引き続き勤めてもらうことを想定しています。今後について、同じように新規で正規職員を採用していくと決定しているわけではありません。やはり、事業収支を考えていかなければなりませんので、再任用職員の活用、あるいは、臨時職員が採用できれば、臨時職員にシフトしていくという考えも持っています。

矢作委員

今年度の病床数は、前年度に比べて5床減少している。稼働率を上げて

いくとのことであるが、このように減少させた考え方について伺いたい。

小峯総務課長

病床数の稼働率に関し、平成25年度の予算では33床としていたが、今回では28床とし、5床減らしています。これは、過去の実績や今年度の状況を勘案して予算計上したものです。これは上限ではなく、これを超える利用があるよう努めていきたいと考えています。

矢作委員

昨年において小児科の医師が増えたとの報告があったが、平成24年度と比較すると、医師一人当たりの当直回数は改善されたのか。

小峯総務課長

小児科については、平成24年10月に新しい医師が入り、一人当たりの当直回数は減っています。また、内科の医師についても、昨年7月に内科の医師1人を採用したことにより、一人当たりの当直回数は減っています。

【質疑終結】

休 憩 (午後1時37分)

(説明員交代)

再 開 (午後1時40分)

【議 事】

○議案第9号「平成26年度所沢市一般会計予算」当分科会所管部分
(教育委員会①)

【補足説明】 な し

【質 疑】

城下委員

生徒指導・いじめ問題対策員報酬について、これは新しく設定された予算なのか、それとも既存のもの名称が変更されたのか。

齋藤学校教育
部次長

いじめ対策の重要性を意識づけて取り組んでいくため、既存の予算科目を名称変更しました。

城下委員

この委員はどういったことを行っていくのか。

沼田 健やか輝
き支援室長

昨年9月にいじめ防止対策推進法が施行され、それに基づいて、各学校ではいじめ防止の基本方針の策定やいじめ対策に取り組むこととなりました。当市においても、所沢市いじめ防止基本方針を定め、いじめ問題対策連絡協議会、それから附属機関に準ずる機関ということで、健やか輝き支援委員会いじめ問題対策チームとして、新たにいじめの防止に取り込んでいくことを目的とし、生徒指導・いじめ問題対策員としたものです。

城下委員

配置予定の2名は、通常、どのような動きをするのか。各学校を回るの

か、それとも何かあった際に動くのか。

沼田 健やか輝
き支援室長 これまでも、各学校を生徒指導対策員として回っていますので、今後も同じように進めていきたいと思います。

矢作委員 健やか輝き支援室でいじめ防止の対策チームが設けられたとのことだが、それは内部の組織なのか。また、この対策員はどういった方がなられているのか。

沼田 健やか輝
き支援室長 附属機関に準ずる機関であり、既存の組織を生かし、健やか輝き支援委員会いじめ問題対策チームと名称をつけて行っていきます。生徒指導・いじめ問題対策員は警察OBの2人です。

矢作委員 警察OBの方が2人とのことだが、それ以外の職を経験された方、例えば退職した教員の方でも対策員になることはできるのか。

沼田 健やか輝
き支援室長 対策員は、これまでと同じように警察OBへお願いしています。

城下委員 いじめ問題対策であり、ある意味、心の問題や心理的な専門性、例えば、児童心理といった専門性も求められると思うが、その点の対応については

	どのように考えているのか。
沼田 健やか輝 き支援室長	いじめ問題対策チームには、指導主事や心理士、いじめ問題対策員、安全安心対策推進員、保護司、民生委員等が入っており、専門的に対応しています。
亀山委員	ここでは、主にいじめの防止について対策を協議していくとのことだが、具体的にどういったことを行うのか。
沼田 健やか輝 き支援室長	日頃から各学校においても定期的なアンケートを取っており、生徒指導部会や教育相談部会では、いじめを早期に発見し、訪問等で状況を確認しながらさまざまなケースに対応したいと考えています。生徒指導・いじめ問題対策員についてはネットパトロール等も行っています。
城下委員	アンケートを実施しているとのことだが、アンケートからいじめが明らかになった例はあったのか。
沼田 健やか輝 き支援室長	各学校では、アンケートから読み取ったということも報告されています。
城下委員	学校法律相談事業の顧問弁護士業務委託料について、具体的に学校の中

で対応できない事例というのは、過去にはどのぐらいあったのか。

齋藤学校教育
部次長

今までも、文書行政課で行っている法律相談を活用しており、今年度は4、5件の事例について相談を求めています。専門的な見地でご意見を求め、それを学校に伝えて対応しました。

城下委員

この事業は具体的にどういった手続きになるのか。

齋藤学校教育
部次長

法的な相談を行いたい場合には、まず、学校長から学校教育課へ連絡をしてもらい、その事件の概要を担当課でまず把握したいと考えています。専門的な弁護士の相談等が必要である場合には、学校教育課から法律事務所へ確認をとり、学校から相談がある旨を連絡して両者をつなぎ、その後、校長からその件について相談をします。一回の相談で終わらない場合には、電話やファクス等で質問をし、適切な対応の示唆をいただき対応していきます。終わった場合や、あるいは随時、学校教育課にも連絡をしてもらい、途中経過や最終的な結果について報告としてまとめ、集約していきたいと考えています。

矢作委員

放課後支援事業費について、これは、ほうかごところの予算であるかと思うが、今年度は何校分で計上したのか。

齋藤学校教育 部次長	今年度は10校分で計上しました。
矢作委員	正規職員2人と臨時職員1人による対応になるとの説明であったが、大体そういった人数での対応となるのか。
齋藤学校教育 部次長	放課後支援員については、原則として5人体制で対応しますが、全て臨時職員です。ただ、リーダーが各学校に1人おり、その他にスタッフとして4人程度が配置されています。3校については6人体制で行っています。
矢作委員	ほうかごところについて、所管は青少年課になるとの話も聞いたが、この点について詳しく伺いたい。
齋藤学校教育 部次長	今までも、ほうかごところについては、全児童対策として、小学校10校において、放課後の時間を学校の中で過ごすという形式で事業を行っているものです。青少年課で行われているものは、全児童対策と留守児童対策を一体化した形式の事業であり、全児童対策の子どもたちは仮に午後5時で帰宅したとしても、留守児童対策の子どもたちはその後も残り、過ごすという形式の事業であると聞いています。

矢作委員	放課後支援事業について、教育委員会のどの部署が関わっているのか。
齋藤学校教育部次長	放課後支援事業は、社会教育課との連携を図りながら、実際の運営の支援については学校教育課で行っています。
中村委員	教育センター費の英語指導助手報酬について、15人として予算計上されている。その中に主任英語指導助手という方がいると聞いたが、どうなのか。
横須賀教育センター担当参事	主任英語指導助手は、経験が20年以上で、積極的に活動でき、主任として英語指導助手を総括するのにふさわしい能力のあるものが担います。
中村委員	1人なのか。
横須賀教育センター担当参事	1人です。
中村委員	主任教育相談員報酬と教育相談員報酬は項目が分かれているが、この英

	<p>語指導助手報酬に関しては同じ項目としていることには何か意味があるのか。</p>
横須賀教育センター担当参事	<p>第二種報酬であり、交通費が出ていないため、英語指導助手報酬については同一の項目としています。</p>
中村委員	<p>交通費が出ていないことにより同じ項目になるとはどういうことなのか。</p>
齋藤学校教育部次長	<p>教育相談員には、主任教育相談員という役職名が付いているものがあります。この英語指導助手については、全てAETという役職です。ただ、リーダーには、それに伴う加算がありますが、そのAETに係る英語指導助手という予算項目としては、まとめて計上しています。</p>
中村委員	<p>では、教育相談員のリーダーは主任教育相談員ではないということでしょうか。主任教育相談員というのは教育相談員の中のリーダーであるのであれば、こちら側はそういう記載をしているのに、AETに係る予算の方はそういった記載をしていないということになるわけであり、今の話からは、主任教育相談員は教育相談員のリーダーではないという理解になるがよいのか。</p>

齋藤学校教育 部次長	主任英語指導助手という役職があれば、予算科目を分けて計上してもよいかと思います。
中村委員	教育相談員と主任教育相談員が分かれているのであれば、英語指導助手に関しても分けて記載した方がよいかと思うが、今後、検討した方がよいのではないか。
齋藤学校教育 部次長	検討していきたいと考えています。
城下委員	主任英語指導助手及び英語指導助手の報酬はいくらか。また、任期は何年か。
横須賀教育セ ンター担当参 事	英語指導助手のリーダーの報酬は月額37万円、英語指導助手は月額35万円です。任期は1年です。
矢作委員	図書館司書について、1日4時間、週5日勤務とのことであったが、1日4時間で十分なのか。
齋藤学校教育	4時間で運用しています。その中で、図書室の整理整頓や、教科で使う

部次長

場合に必要な準備を行う等、いろいろな形で対応してもらっています。

矢作委員

司書が配置されたことで、教育活動に非常に効果があったという声も聞いているが、そういった現場からの声はあったのか。また、司書をさらに配置してほしい旨の要望はあったのか。

齋藤学校教育

部次長

所沢小学校と東所沢小学校に関しては、3年前に配置し、そこでの3年間の経過を見たとえで今後の配置に関しては決定していくこととなっていました。そこでの3年間の状況を見ると、図書の整理がされてきたり、いろいろなところから司書補助員の増員を望む声がありました。

城下委員

過去において、司書を配置してほしい旨の請願があったが、今回、新たに3校への司書の配置となる予定である。今後、全校へ配置していくという方針や計画性が必要であるかと思うが、その点についてはどう考えているのか。

北教育総務担

当参事

小学校図書館の司書補助員の配置については、市長の公約ということもあり、配置についてはさまざまな検討をしているところですが、司書補助員以外のその他の支援として、心のふれあい相談員や学習支援員等の各種支援員が市内の小中学校へ230人以上配置されています。そういった状況も踏まえると、予算面等の諸問題もありますので、現在のところ、3人

	<p>の配置として予算計上し、有効に活用していきたいと考えています。</p>
城下委員	<p>3年間の成果を見て、新たに3校へ配置するための予算が計上されているわけであるが、各種の支援員を配置しているということではなく、司書補助員の確保という観点で、今後、どのように考えていくのかということを知っている。</p>
北教育総務担当参事	<p>臨時職員の配置については、予算が伴うものでありますので、全体的な予算を踏まえながら、今後についても検討していきたいと考えています。</p>
末吉委員	<p>児童数が多い学校ということで、上新井小、南小、若狭小学校へ司書補助員の配置をしたとのことであるが、各学校の読書量調査は行っているのか。</p>
齋藤学校教育部次長	<p>この度については、児童数の多いところから3校を選びましたが、実際、配置に関しての論議の中で、読書量や貸し出し数の状況等を勘案しながら論議したことはありました。しかし、今回に関しては、児童数が多い学校へ配置したものです。</p>
末吉委員	<p>司書補助員が配置されている学校は効果が上がっているという理解でよいのか。</p>

齋藤学校教育 部次長	この3年間の状況を見ると、読書量や貸し出し数等、図書室の利用状況については、成果が上がっているものと考えています。
末吉委員	児童数で配置先を選んだことについては、理解できるが、しかし、読書量調査や近隣へ徒歩で行ける範囲内に公立図書館や書店がないといった地域間格差や東西南北を分けたときのバランスといったことも考慮すべき点としてあるかと思うが、今後、その点についても検討材料になっていくのか。
齋藤学校教育 部次長	今後、予算化していくという方向性になった場合、次の司書補助員の配置先は現在配置されている学校の次に児童数の多い学校となるのか、あるいは、今のご意見等を入れながら判断していくのかといったことについては、今後、検討していきたいと考えています。
中村委員	トイレ改修に関して、現場や保護者、あるいは子どもたちから、こうしたことを直してほしいというアンケート等を行っているのか。
北田教育施設 担当参事	学校からアンケートは取っていませんが、年度初めに、各学校からその年度に対する修繕要望書の提出を受けています。各学校のトイレのことや校庭のこと等、細かなことについて要望をいただき、次年度の予算編成に役立てています。

中村委員

それは、原状回復にあたる部分とプラスアルファにあたる部分があるかと思うが、その点の区分けはどのように行っているのか。また、対応の優先順位等があるかと思うが、その点はどのように考えているのか。

北田教育施設

要望書を受け取りましたら、その要望書を修繕工事に係るもの、また、

担当参事

大規模でお金がかかる工事に係るもの、今よりグレードが上がるもの、ただ単に保全するもの等の区分けをし、年度の予算に応じてできるもの、できないものについて学校へ説明しています。

中村委員

例えば、トイレの改修はどこまで続けるかといったことや、校舎の木質化、学校給食の自校給食化等、個別の事業に対する具体的な計画というのは、順次作成されていくことはあるかと思うが、それら個々の事業を総合するような考え方や計画等の策定を考慮してはいないのか。

内藤教育長

学校からの修繕要望はかなりの量になります。そのため、まず分類し、教育委員会としては何よりもまず安全を優先します。教育施設課としては、どれも行わなければならないと評価しますが、緊急度や他の工事との兼ね合いでかなり苦勞しながら対応しています。しかし、それでは、計画的な取り組みができませんので、トイレの改修計画を立てる等、同時に対応している状況であり、さらに改善、修繕したいところがありますが、現状では順番に対応している状況です。

中村委員

当市には公共施設の修繕計画があり、また、公共施設マネジメント白書があるわけだが、教育委員会として、老朽化の度合い、必要とされる費用等や計画等を考慮し、そういったものを策定していくことはないのか。

北田教育施設
担当参事

平成23年度に、教育委員会内部の検討会議ではありますが、所沢市教育施設整備検討委員会の中で、教育委員会が所管する施設の今後の在り方について検討がなされました。学校の事業として課題になったものが、学校のトイレの改修事業、大規模な改修事業、エコスクール化、校舎内の木質化等の計画についてでした。

城下委員

工事請負費の施設改修工事（施設整備事業分）について、これは計画に基づいているという理解でよいか。例えば、年度途中にある学校の4階の教室に水が漏れ、勉強ができなかったという話を聞いたことがあるが、そのような場合の修繕はどの予算で行っているのか。

北田教育施設
担当参事

小学校の緊急の修繕については、小学校施設維持管理費の中の11節の需用費における修繕料（施設）において対応しています。

城下委員

その予算で緊急的に対応し、さらにしっかりとした工事が必要となる場合には、次の予算に反映される場合もあるという理解でよいか。

北田教育施設
担当参事

あくまでも修繕であり、応急的な修繕を行います。工事が必要な場合は、翌年度、工事費において予算要求をしていきます。

中村委員

耐震の際は、しっかりと計画して行っていたかと思うが、この頃はそういう感じではないのではないかと感じている。自校給食化についても小学校は全て行うかと思っていたが、止まっているわけであり、一方で木質化の件が出てきたり、屋根貸しの案件が出てきたり、全体の対応が定まっていないのではないかと感じる。計画性がないために、お金が無駄に使われてしまうのではないかと感じてしまう。この点についてはどう考えているのか。どのように有効活用していると理解していったらよいのか。

北田教育施設
担当参事

教育委員会内部の会議に、所沢市教育施設整備検討委員会というものがあり、その中で優先順位を決め、その後に教育委員会事務局全体でも検討して決めていきたいと思っています。

中村委員

その内部の議論はどういう優先順位の付け方をしているのか。一つ一つやることはいいことであるとは思いますが、予算の観点や優先順位の観点からは見えにくいと感じているわけであり、どう考えているのか伺いたい。

北田教育施設
担当参事

老朽度、学校からの要望等を考慮して、学校トイレの改修が優先順位としては一番でした。

中村委員	<p>そういうことではなく、先ほど教育長の答弁では安心安全の問題が最優先であるとのことであったが、そういった優先順位を付けるにあたっての考え方はどうなっているのかということを知っている。</p>
北田教育施設 担当参事	<p>まず、児童が毎日使用する教室や学校のトイレを第一優先としてトイレの改修と学校の木質化に決まりました。</p>
末吉委員	<p>体育館のトイレについて、日常の利用では校舎のトイレに比べ使用頻度は低いと思うが、体育館は災害時には避難所となることから、危機管理の観点からは、災害時に洋式の便器がない等のことは困難なことになるのではないと思う。今後、そういったことは検討していけないのか。</p>
北田教育施設 担当参事	<p>体育館のトイレについては、現在、危機管理課と調整はしていますが、スペースが小さいため、改修を行うにあたっては難しい問題もあります。可能であれば、トイレの改修計画の中で、1階のトイレに少し広いブースを付けたいと考えています。</p>
城下委員	<p>特別支援学級運営費の臨時職員賃金に関して、配置される障害児の介助員の人数について伺いたい。</p>
北教育総務担	<p>平成25年度が27人です。平成26年度は2人増え、29人です。</p>

当参事

城下委員

勤務状況としては、月曜日から金曜日、フルタイムで配置されるという理解でよいか。

北教育総務担

当参事

勤務日数については、月曜日から金曜日までの週5日勤務となりますが、勤務時間は1日6時間です。

末吉委員

要保護及び準要保護児童費について、来年度は、今年度よりも金額が増えているということは、人数が増えているのか。また、今までの方についてもしっかりと対応していくという理解でよいか。

北教育総務担

当参事

生活保護水準の引き下げに伴い、国から、その影響が出ないような対応を求める旨の通知が出されていますので、市においては、引き下がる前の水準の基準に基づき計算しました。従いまして、生活保護基準の見直しに伴う影響が出ないように対応しています。就学援助の対象者数の見込みとしては、小中学校をあわせると、111人の増加を見込んでいます。

城下委員

財源内訳として、金額が73万6,000円となっているが、これは、要保護に対する国の補助のことであるかと思う。そうすると、準要保護は市の全額負担になるかと思うが、今回、生活保護水準の引き下げに伴う影

響が出ないように対応してほしい旨の通知が来たということは、従来どおりの金額が国から交付されるという理解でよいか。

北教育総務担当参事 従来どおりの金額が交付されます。

城下委員 木質化工事設計委託料について、いつ頃から実施を検討していたのか。

北田教育施設担当参事 木質化の計画は、第5次所沢市総合計画における「学校環境の整備を進める」という項目に入っているものと考えています。木質化については、学校施設の内部改修の大規模工事として考えていました。耐震補強事業を優先していましたので、前期基本計画では計画はしていませんでしたが、その後、平成23年に新たに市長が就任し、その公約の中に木質化が含まれていました。平成24年度に教育委員会内部で検討を行い、平成25年度に関係各課と調整し、木質化に方針が決まりました。従って、後期基本計画には木質化の計画を記載したいと考えています。

城下委員 平成24年の何月に検討を始めたのか。

北田教育施設担当参事 平成24年4月です。

矢作委員

市長が昨日の本会議の答弁の中で、木質化に関し、吸音、吸湿等の効果が上がらなければやめる旨を言っていたが、その効果はどのようにして計るものなのか。

平野教育総務

この木質化については、効果はあるとされています。効果があることはわかっていますが、この工事自体が他の改修よりもお金がかかるものであり、なかなか実施に向けて進めなかったものですが、耐震補強工事が一段落したため、この機会に木質化を行うものです。改修の一つの手法として木質化を行うものです。

部長

城下委員

温度、湿度の調整機能等の教育面における効果に着目したとのことだが、きちんとした科学的な根拠等があるのか。

北田教育施設

効果については、埼玉県、群馬県、及びときがわ町が共同研究を行い、学校の湿度等を調査したそうです。その結果、湿度が80%以上の不快に感じる時間が短くなったと、ときがわ町へ視察に行った際に聞いています。

担当参事

城下委員

そうすると、湿度等を調整する機能があるということから、狭山ヶ丘中学校になったということなのか。

平野教育総務
部長

温度と湿度のみならず、木の持っている力はイメージといったものではなく、科学的に実証されているものであり、例えば、インフルエンザの減少や咳等の減少といった効果が実証されているようです。そういったことを踏まえて、実施可能なこの時期に行うということです。

城下委員

ときがわ町に視察に行ったとのことであるが、あそこは本当に緑に恵まれた環境のいいところであり、そういう意味では、狭山ヶ丘中学校や中央中学校の立地条件とは多少違うかと感じるが、その点はどのようにとらえているのか。

平野教育総務
部長

ときがわ町よりも緑が少ないからこそ、木質化の効果はより上がるものと思います。

末吉委員

市長は狭山ヶ丘中学校の欄間窓はエアコン設置の問題に関係がある旨を言っていたが、この間、狭山ヶ丘中学校の扇風機と欄間窓はエアコンの問題には関係ないと言われてきた記憶がある。そのため、欄間窓と扇風機と今回の木質化については、エアコンの問題に関係があるのかなのか、教育長に伺いたい。

内藤教育長

暑さ対策については、扇風機で取り組んできた経緯がありますので、それはそのとおりです。欄間窓については、私としては市長の説明が合理的

な内容を含んでいると認識しています。木質化については、先に部長が述べたとおりです。

末吉委員

欄間窓の設置はエアコンの問題に関係があるという認識でよいか。また、扇風機と今回の木質化は関係があるのか。

内藤教育長

欄間窓については、これまでも風通しを良好にしたいとの要望に対して取り組んできたという意味では、一般性を持った施策であります。また、暑さ対策については、扇風機で対応してきました。木質化については、もともと公共施設の木質化推進に関する法律等もあることを認識していたことに加え、平成24年度から検討して取り組んでいるものです。

中村委員

この事業にあたっては、最初、市債の発行により、そのあと、国の学校施設環境改善交付金を活用するわけだが、最初から補助金を予算計上しなかったのか。どういった理由でこのような対応になったのか。

平野教育総務
部長

この度の予算の対象は、設計の予算です。工事は平成27年度を予定しています。交付金については、設計費も対象になるとは思いますが、申請をする時期は、工事を行う平成27年度であることから、平成27年度の歳入として記載しているものです。

中村委員	急遽決まり、補助金を申請する期間がなく、補助金をもらえないということはないという理解でよいか。
平野教育総務 部長	落札率等もありますが、補助対象経費の3分の1の補助率で交付される と考えています。
中村委員	他の補助金を利用できたのに取れなかったといったことや、交付額が大 きな補助金があったのに間に合わなかったということはないという理解 でよいか。
北田教育施設 担当参事	木質化に関してはありません。
中村委員	三ヶ島小学校や松原学園にも行ったが、出来たものは大変いいと思う。 しかし、あのような場合は、例えば、三ヶ島小学校の階段室については、 あれは耐震化の工事と一緒にやるべきであり、そもそもあそこだけ別々に 工事することも疑問が残るが、それはさておき、やはり直す必要があるも のであって、どうせ直すのであれば木質化も合わせて行うというイメージ であるが、松原学園も同様かと思う。こういったことは、無駄遣いの感じ がなくてよいと感じる。急に木質化するのではなく、私の考えでは、何か の工事や修繕の際に合わせて木質化すればよいかと思うが、どう考えてい

るのか。

平野教育総務
部長

学校施設は、大体が昭和40年から50年に建てられたもので、耐用年数は70年とされています。建築基準法の改正により、耐震化の工事をこの間行いましたが、いずれにせよ、平成37年、38年頃には建替えの必要性が生じると考えられます。そのため、それまでの約20年間、現在の施設を継続して使用していくことになります。外壁等は先ほどの計画的な修繕において対応していきますが、内側の設備等はずっと傷んでいるところもあります。こういった状況の中、給排水管に関してはトイレの改修の際に修繕を行い、内装については木質化とともに改修していくことで対応を考えており、改修の一つの手法として木質化という要素を入れて取り組んでいるものです。

中村委員

木質化を推進するために改修するのではなく、改修するときに木質化すると考えた方がよいということか。

平野教育総務
部長

改修のときの一つの手法として取り組んでいます。

城下委員

この予算は、単純に2で割った額が1校分の金額という理解でよいか。

平野教育総務 部長	詳細な設計によれば多少の金額のばらつきはあるかと思いますが、同じような施設の作りや規模等であることから、おそらくはそんなには変わらない金額になると見込んでいます。
城下委員	平成27年度に工事を予定しているわけだが、今年度と来年度における一校あたりの費用はいくらになるのか。
平野教育総務 部長	今のところは、9,100万円ずつを見込んでいます。
末吉委員	昨日の議場の答弁を聞いていると、全校を木質化することではなく、2つの中学校をまず行い、効果があるかないかを見て、その結果によっては今後の実施についてはまだわからないという趣旨の発言であったと思う。木質化とエアコンの設置の問題は関係ないという理解でよいか。
内藤教育長	耐震工事終了後、今後いかに学校の修繕等に対応していくかということが教育委員会の中で厳しく議論されてきました。トイレについてはよりよいものを作るということもありますが、改修しないわけにはいかないという現実があります。そのような中で、同時に、この度、木質化についても予算計上しましたが、合理性を持った順位付けをしなければならないとの認識のもと、教育施設課も知恵を出して対応していく中で、この度の2校

を選定したものです。

末吉委員

エアコンの設置の問題と木質化事業は関係ないという理解でよいか。

内藤教育長

別のものかと考えています。

末吉委員

幼稚園運営費について、70人定員の所沢第二幼稚園に対し、23人の応募であったという状況の中、園児の募集を拡大したと聞いたが、確認のため、応募人数について伺いたい。また、なぜ募集を拡大していくのか。

齋藤学校教育
部次長

年少に関しては、来年度は23人が入園予定です。年長については、30人を予定しています。来年度において、特に拡大ということではなく、募集の定員は70人として募集をかけています。結果的には、その中で23人の応募がありました。所沢第二幼稚園を通学対象とする幼児の入園率の平均等から推察すると、毎年30人前後の入園は見込めるかもしれませんが。しかし、平成23年度のと時の入園率においては、平均19%よりも高い35.5%の時がありました。その35.5%をもとに換算すると、60人の入園も予想されますので、70人の定員を変えていませんが、そのような形で募集したものです。集まり具合によっては、平成27年度以降に再度検討し、応募人数を決定していきます。

末吉委員 増築した金額が2,069万円とのことだが、ここをプレハブ校舎で建てたときはいくらであったか。また、この間、所沢第二幼稚園へ投入している金額と減価償却を何年と見込んでいるのかについて伺いたい。

北田教育施設
担当参事 所沢第二幼稚園の最初の3室の改築分の契約について、リース契約の契約金額は4,116万円です。平成24年度に一室を増築した時は、2,069万5,500円です。

末吉委員 市立幼稚園については、将来的には廃園の方向であるという提言を受けているのではないかと思うが、何年間、校舎を使用する予定であったのか。

平野教育総務
部長 リース期間としては5年です。

末吉委員 現在、子ども・子育て新システムにおいて、幼稚園を含めてのさまざまな検討が国においてもなされているが、その中で、70人定員に対し23人の応募しかなく、また、4部屋のうち2部屋が余裕教室であるという説明があった。これは何らかの改善策なりを提案すべき予算提案であると捉えざるを得ないかと思うが、どう考えているのか。また、幼稚園だけが定員割れをしている状況からは、あまりにも実態と乖離しているのではないかと感じるが、その点についての来年度以降の改善策は何か検討しているの

か。

齋藤学校教育
部次長 幼稚園に関しては、幼児教育振興協議会という検討の場がありますので、そこにおいて議論を重ねてもらい、様子を見ながら募集定員を70人にするのか、35人にするのかということを検討していきたいと思えます。

城下委員 潜在的なニーズはあると思う。なぜ通えないかということでは、登園の条件を緩和すれば公立幼稚園に通いたいという方はいるかと思うが、緩和は検討しないのか。

齋藤学校教育
部次長 今のような要素も含めて、私立幼稚園との関係もありますので、その点については慎重に今後検討していきたいと思えます。

城下委員 条件緩和も含めて検討するという理解でよいか。

齋藤学校教育
部次長 それも含めて、検討していきたいと思えます。

中村委員 通学可能領域における人口は増えているのか。また、子どもの数は増えているのか。

齋藤学校教育
部次長

今後3年間は、170人前後で推移していくと推定しています。

【議案第9号 教育委員会①所管部分質疑終了】

休 憩 (午後2時53分)

(説明員交代)

再 開 (午後3時10分)

【議 事】

○議案第9号「平成26年度所沢市一般会計予算」当分科会所管部分
(教育委員会②)

【補足説明】 なし

【質 疑】

末吉委員

図書購入費について、昨年度との金額の増減を伺いたい。

岸所沢図書館
長

昨年度の図書購入費は、5,500万円です。平成26年度の図書購入費は、100万円を増額し、5,600万円を予定しています。

末吉委員

書籍の『アンネの日記』が棄損される被害が東京都等で発生していたが、この問題への対策はどうなっているのか。

岸所沢図書館
長

当市の『アンネの日記』の被害状況ですが、本館及び分館とも被害はありません。対策として、図書の破損を防ぐために、図書をカウンター内や職員の目の届くところに置き、図書を守りつつ、市民の方にご覧いただけるように配架をしています。また、図書を守るためにこのような措置を取っていることをご理解いただくために、この趣旨について掲示し、周知しています。

末吉委員

中沢啓治先生は所沢にお住まいになっていた漫画家だが、『はだしのゲ

	ン』は図書館には配架していなかったか。
岸所沢図書館 長	『はだしのゲン』についても所蔵しており、本館、分館とも配架しています。
城下委員	図書購入費について、分館の指定管理者制度の導入の際、図書の購入費を確保したいということも指定管理者制度へ移行する理由であったと思うが、今年度は100万円の増額予定とのことであり、私としては少し少ないと思う面もあるが、担当として、金額について何か目標は定めているのか。
斉藤教育総務 部次長	指定管理者制度の導入による経費の節減という効果もあるとの認識から、当時、節減した分を図書購入費へ回し、購入費を多く確保したいと考えていました。今年度は、100万円を増額し、5,600万円を計上したわけであり、一時は4,000万円台であり、厳しい状況もありましたが、いくらか希望が叶ってきたかと思っています。しかし、特に、上限としての目標はありませんが、良質な図書を数多く提供していきたいという考えからは、さらに増額していければとは考えています。
近藤委員	文化財等保存事業補助金について、この内容について伺いたい。

富田文化財保
護課長

これは、所沢市文化財等補助事業費補助金等交付要綱に基づき、市内の指定文化財の管理及び修理等に要する経費について所有者あるいは管理者に対して補助をする制度です。内容は、管理費や消防設備関係の法定点検費用の補助のほか、修理の補助として、今年、起源伝承400年をむかえる、所沢市指定無形民俗文化財である岩崎籠獅子舞の道具の修理費として41万7,000円を計上し、また、県の指定有形文化財である不動寺の第一多宝塔の震災時の被害の棄損部分の修理費として20万2,000円を計上しています。

近藤委員

所沢市の文化財であり歴史あるものであるが、この事業は今後も継続していく予定はあるのか。

富田文化財保
護課長

文化財等保存事業補助金については、例年、管理費負担等に対する支援としてこれまで継続してきましたので、来年度以降も継続していきたいと考えています。また、修理等については、天災等による緊急の被害等も発生することがありますので、現在の予算の中では十分な対応ができない可能性もありますが、そのようなことが発生した場合には、国や県の助成制度や補正予算措置等の中でこちらの補助制度を活用することを考えていきたいと思っています。

近藤委員

所沢市の貴重な文化財であり、来年度以降も予算計上をしていただきたい

	<p>いと思うが、いかがか。</p>
富田文化財保護課長	<p>文化財保護課としても、貴重な市民の共有の財産である文化財の保存のために、この制度のより一層の充実を図っていかれたらと思っています。</p>
城下委員	<p>民族資料館の補修等の予算は、この民俗資料館管理委託料の中に含まれているのか。</p>
富田文化財保護課長	<p>市内には3つの民俗資料館がありますが、これらの施設は市の施設であることから、その修繕については、基本的には公共施設の修繕計画の中において対応していくこととなります。平成25年度においては、柳瀬民俗資料館の修繕工事が実施されました。</p>
城下委員	<p>こういった民族資料館等の維持管理は、何に基づいて行っているのか。</p>
富田文化財保護課長	<p>民俗資料館の設置については、現在のところ設置条例等はありません。地元の保存会の方が過去に収集した民具類の保管場所として市で建物を建設したものです。普段は民具類の収蔵を行っていますが、地元の保存会の方に管理をお願いし、月に4日だけ開館しています。設置の根拠については、昨年、公の施設としての検討を進め、設置条例の整備を進めるようにとの意見を監査委員からいただきましたので、現在、生涯学習推進センタ</p>

一における収蔵庫計画と調整を図りながら当課において検討を進めています。

末吉委員

文化財等保存事業費補助金に関し、起源伝承400年をむかえることから、今年度において予算計上されたのか。節目の年であることから、予算計上を行うということか。

富田文化財保護課長

先ほど、400年をむかえる旨をご説明しましたが、この補助金に関する予算が計上されたのは、400年の節目をむかえる文化財であるためということではなく、地元の保存会の方のこれまでの熱心な活動の中で、常に修理を行いたいという希望はあったかと思いますが、この度、400年を機に是非修復したいという強い要望をいただいたことから当課として予算計上を行ったものです。

末吉委員

岩崎鯨獅子舞や重松流祭ばやしにしても、そういった伝統芸能に関して、市民の方の努力のみでやっていくのかと感じるわけであり、もう少し、文化財保護について市の理解があってもよいのではないか。

富田文化財保護課長

文化財等保存事業補助金の内容について、少し説明が足らなかったかと思しますので、補足いたします。こちらの管理に要する経費の中で、獅子舞の保存会のほか、地元で文化財の保存に熱心に活動されているいくつか

の保存会へ年間15万円の活動補助をこちらの制度の中で行っています。
また、文化財の支援が足りないのではないかとこのことについては、来年度、
に新たな取り組みとして文化財保護普及啓発グッズを作成して、文化財保
護の意識啓発を進める活動を行っていきたいと考えています。

末吉委員

所沢市立博物館基本構想に係る収蔵庫のイメージでは、収蔵庫だけでは
なく、展示スペースも兼ねるといふものなのか。どのように検討されてい
るのか。

比留間生涯学
習推進センタ
ー所長

収蔵庫については、収蔵庫設置推進事業において検討しています。現在
は市の財政等の状況、また平成25年3月に策定された公共施設マネジメ
ントの方針からも施設の新規整備の抑制が示されていますが、教育委員会
としましては、学校施設耐震化完了後の教育施設整備計画における収蔵庫
の設置事業として位置付けております。

末吉委員

位置付けはわかるが、具体的にはどうなっているのか。

比留間生涯学
習推進センタ
ー所長

学校施設の耐震化完了後の教育施設整備計画の中に収蔵庫設置推進事
業も位置付けているということです。

末吉委員 収蔵庫だけではなく、展示スペースもあるとの答弁があったという記憶があるが、どうであったのか。

平野教育総務部長 平成14年に博物館構想というものがりましたが、その後、財政状況から難しい面もあり、中断していた部分があります。教育委員会としては、その収蔵庫については、所沢市の貴重な文化財を良好な状態で保存し、そうした資料を市民の方に還元して文化財の保護や啓発をはかっていく施設として考えており、その重要性は認識しています。しかし、必要制はあるものの、具体的な計画の素案作成までは至っていません。イメージとして申し上げたのは、生涯学習推進センターの敷地の中に、以前の構想では博物館でしたが、現状では、まずは資料の散逸を防ぐための良好な環境を持つ収蔵庫を建設できればと考えています。また、そのイメージの中では、収蔵庫が主体ではありますが、集めるだけではなく、一部には展示をするスペースも確保し、特に市内に博物館がない小中学生が市内で文化財等を鑑賞できるようなことができればよいと考えています。場所について等、今後、さらに検討していきたいと思っています。

末吉委員 教育委員会としてその構想が確認されたというよりは、担当部長においてそういったものがあればよいと考えているという理解でよいか。

平野教育総務 前の博物館構想から考え方は引き継いでいますが、今後、皆さんの意見

部長	を伺いながら検討していく方向で考えています。
城下委員	生涯学習推進センター費について、早稲田大学が関わっている、臨床研究があったが、来年度、研究内容や成果についての報告はあるのか。
齋藤学校教育 部次長	施設に関しては、早稲田大学大学院であり、学校教育部の臨床エリアは早稲田大学の人間科学学術院と心理関係の部門です。その中で、早稲田大学の人間科学学術院から大学院の学生が各小中学校に不登校対策等のため、メンタルフレンドや健やか支援員といった形で出向き対応しています。
城下委員	年度ごとに何か報告書は提出されるのか。また、どの程度の学生が市内の学校を回っているのか。
齋藤学校教育 部次長	メンタルフレンド等の活動報告については、大学との間でもやり取りはしていますが、個人情報に係わる取り扱いもあり、公の形の報告書はありません。大学院生は毎年度の4月に辞令交付をし、各学校に派遣して、いろいろな活動をします。教育センターの主任、教育相談員や学校教育課にいる心理士がその途中のケアを行うといったシステムになっています。
城下委員	そういったことを含めて報告書の提出を求めていくべきではないかと

思う。あの場所はほぼ無償、あるいは減免の制度を利用しているかと思うが、現在もそうであるのか。

比留間生涯学 そのとおりで、その他早稲田大学からは施設使用料として電気使用料、
習推進センタ 上下水道料を徴収しています。

一所長

城下委員 年間いくらか。

比留間生涯学 年間、電気使用料は13万2,000円程度、上下水道料は1,200
習推進センタ 円程度となっています。

一所長

平野教育総務 先ほど、収蔵庫に関し、私は個人的な考えとして申した旨を答弁しまし
部長 たが、第5次所沢市総合計画におきましても、博物館及び文書館の設置準備や資料の収蔵庫施設整備に向けた検討を行うことが明記されていますので、計画としては残っていると教育委員会では考えています。

矢作委員 脊柱側彎症検査委託料に関して、現在、脊柱側彎症として診断された子どもは何人いるのか。

師岡保健給食 課長	現在、学校医が内科検診時に、視診及び触診で行っていますが、小中学校の全児童生徒の受診者2万5,052人中、疑われた児童生徒数は49人で、0.19%です。
矢作委員	最近は増加傾向なのか。
師岡保健給食 課長	概ね同じような率で推移していたかと思います。
城下委員	体育施設運営費に関して、トレーニング室等の管理運営の業者は毎年替わるのか。
内堀スポーツ 振興課長	体育館については、体育館の総合管理とトレーニング室の運営の委託を しており、これまでトレーニング室については、替わっています。現在、 総合管理を委託している業者が株式会社サイオーです。トレーニング室が 株式会社城西企業埼玉支店です。
城下委員	この事業に関しては、毎年入札で業者を選定しているのか、それとも随 意契約なのか。
内堀スポーツ	毎年、指名競争入札です。

振興課長

城下委員

何者指名しているのか。

内堀スポーツ

トレーニング室は5者、市民体育館の総合管理については、12者です。

振興課長

中村委員

パークゴルフ場運営管理業務委託料について、この内訳について伺いたい。

内堀スポーツ

こちらは、二つの業務を委託しています。一つは受付と管理の委託であ

振興課長

り、平成25年度については随意契約により坂之下の自治会へ委託しています。平成26年度の契約金額は約253万円です。二つ目は整備に関するもので、フェアウェーやグリーンの芝刈り、石拾い等です。シルバー人材センターへ委託しており、契約金額は約220万円です。

城下委員

学校給食調理業務委託料について、これは和田小学校において民間へ委託していくという理解でよいか。

師岡保健給食

和田小学校については、平成26年4月から委託を予定しています。

課長

城下委員

保護者への委託の説明はどのように行ったのか。

師岡保健給食
課長

学校へ依頼し、保護者へ通知しております。

城下委員

以前、東所沢小学校で行われた際は、急に委託になるということで、保護者の方が大変あわてたようであったが、これは皆さんに集まってもらった説明であったのか。

師岡保健給食
課長

文書での通知になります。

城下委員

この委託料はいくらか。

師岡保健給食
課長

予算は3,930万円です。

城下委員

職員の配置についてはどのようになっているのか。

師岡保健給食
課長

現在、職員は栄養士が県費負担の職員です。調理員については、職員3人と臨時職員が5人です。

城下委員

この方たちはどこに配属されるのか。

師岡保健給食
課長

栄養士については、委託であっても、直営であっても配置は変わりません。市職員の調理員については、4月1日の人事異動でいずれかに異動になります。また、臨時職員についても、希望により配置替えになります。

末吉委員

学校給食の単独調理方式について、小中学校に占める割合について伺いたい。

師岡保健給食
課長

小中学校47校中、小学校15校が単独調理校です。

末吉委員

単独調理方式への計画みたいなものはないかと思うが、そういった計画を立てていく方針はないのか。

師岡保健給食
課長

小学校の調理場については、自校化の方針で進んできたところですが、耐震化により中断しております。その中で、給食センターの老朽化等に対し、少しでも負担を少なくするために親子方式で対応しますが、今後の計画については、関係課と協議しながら計画を決めていきたいと考えています。

城下委員

アレルギーに係る取り組みについて、毎年、学習会のようなものがあったが、平成25年度はどのような対応をしたのか。また、平成26年度については、そういった事業がどのように予定されているのか、お示しいただきたい。

師岡保健給食
課長

所沢まちづくりセンターにおいて、市内教職員や学校医を対象に講習会を行いました。平成26年度については未定です。

城下委員

アレルギーのお子さんを抱える世帯も増えている中、事故もあったわけだが、適切な知識を得るといふことと、そういった方たちがつながっていく場を確保するといふことから、2度にわたって保護者を交えて学習会を行った経緯があるが、平成25年度については、その点は検討されていないという理解でよいか。

師岡保健給食
課長

現在のところ予定はありませんが、検討はしていきたいと考えます。

【議案第9号 教育委員会②所管部分質疑終了】

休 憩 (午後3時52分)

(説明員交代)

再 開 (午後3時55分)

【議 事】

○議案第13号「平成26年度所沢市介護保険特別会計予算」

【補足説明】 な し

【質 疑】

城下委員

介護保険システム修正委託料について、介護保険の制度改正に伴い必要になるとのことだが、具体的な内容について伺いたい。

仲介護保険課
長

平成27年度からの制度改正に伴うシステム改修です。内容としては、要支援1・2の方の訪問介護、通所介護が新総合サービスという形で地域支援事業へ移行します。また、特別養護老人ホームの入所者の重点化ということで、主に要介護3以上の方を特別養護老人ホームに入所可能とする改正となります。また、利用者負担の見直しにより一定以上の所得者の方の利用者負担が、1割から2割になります。また、補足給付についても改正があります。詳細な内容等については、社会保障審議会の中で議論されているところですが、それを踏まえてこの度予算計上しました。

城下委員

予算を確保しておき、国の動き次第で改修業務に移行していくということとでよいか。

仲介護保険課
長

そのような考えです。

城下委員

この制度改正に伴う、国の負担はあるのか。

仲介護保険課
長

確定ではありませんが、事業費補助金として一部、国より補填がありそうです。その際には財源変更を行います。

城下委員

介護サービス給付費について、平成29年は第6期の最終年度ということになるが、居宅介護及び施設介護サービス給付費の平成24年度の予算及び決算について伺いたい。

仲介護保険課
長

平成24年度の居宅介護サービス給付費の決算額は、75億3,745万8,350円です。当初予算額は74億7,516万円です。施設介護サービス給付費の決算額は、46億5,208万5,156円です。当初予算額は、59億9,491万2,000円です。

城下委員

平成24年度の居宅介護については、予算よりも若干決算額の方が増えているということと、施設介護については、予算は約60億円であったが、決算としては約46億円ということである。計画と比べての割合はどうか。

仲介護保険課
長

施設介護サービス給付費の平成24年度の実績値と計画値の差分ですが、計画値に対する実績値の割合は77.6%です。

末吉委員	成年後見制度利用支援助成金について、昨年度の予算より増額となっているが、その理由並びに見込み件数について伺いたい。
池田高齢者支援課長	こちらの増額分については、市長申し立てによる成年後見人の活動の報酬についての増加分ですが、ここ数年、対象者が生活保護を受給している方等、資力のない方が対象となるケースが増えていますので、その分を増額したものです。新規分として4人を見込んでいます。
城下委員	介護予防事業費のうち、講師謝礼について伺いたい。はり、マッサージに関するものであるのか。
美甘福祉部次長	介護予防事業の一環として、老人憩の家や老人福祉センターにおいて、講師を招いて講習会等を開いております。その中で、はりやマッサージの関係の方に講師となってもらっています。
城下委員	今までは、一般会計において助成金として対応していたものを、介護保険特別会計の中に取り入れていった主な理由は何か。介護保険特別会計は皆さんの保険料で事業を行っていくものであり、介護保険会計の中にそういったものを入れていくとやはり膨らんでいってしまう。なぜ入れたのかがよく理解できないが、その経緯について伺いたい。

齊藤 高齢者支
援課副主幹 介護予防事業費のうち、8 節報償費における謝礼については、老人福祉センター及び老人憩の家で介護予防事業の一環として有資格者に依頼して介護予防に関する講座を開催するという事業の中に、鍼灸師による相談も行えるという意味で計上しているものです。

本橋福祉部長 別の予算項目として、はり、マッサージの事業がありますが、これは、特定の方を対象として助成をする事業です。講座を行うといった事業については、広く予防の効果を知っていただきたいということから、一部謝礼という形で予算計上したものです。昨年度から実施しています。

矢作委員 昨年度において、高齢者の引きこもりの予防として「買い物マップ」の作成ということがあったかと思うが、その事業の結果はどうであったのか。

池田 高齢者支
援課長 高齢者の生活支援としての買い物マップの作成については、地域包括支援センターにおいて作成を進めており、今月末に完成する予定です。

矢作委員 作成した後に、どのように活用されるのか。また、産業経済部で引き売りみたいなものを行っていた事業がなくなったことと関連があるのかと思ったが、どうであったのか。

池田高齢者支援課長 各圏域の中で地域ケア会議を開催し、その中において、その圏域で買い物マップや高齢者の生活支援マップの内容を決めていきました。その中で、高齢者にとって特徴的な店等を集約して作成しています。引き売り等の情報も地域によっては取り入れているところもありますし、商品を配達しているところ等各地域の特性に応じて、地域ケア会議で議論し作り上げていったものです。

矢作委員 どういった方に配付するのか。

池田高齢者支援課長 65歳以上の方に利用していただきます。配付については、各地域の地域ケア会議で、例えば、民生委員の方へ配付をお願いする等、検討していただいています。

城下委員 平成24年度末における介護保険の滞納者数及び金額について伺いたい。

仲介護保険課長 平成24年度分で平成25年度に滞納繰越をした分が1,968人、金額では6,817万1,250円です。また、平成17年度から平成23年度分については、1,805人、金額では5,975万9,600円です。以上が平成25年度に繰り越しを行ったものです。

【質疑終結】

休 憩 （午後4時15分）

（説明員交代）

再 開 （午後4時17分）

【議 事】

○議案第14号「平成26年度所沢市後期高齢者医療特別会計予算」

【補足説明】 な し

【質 疑】

城下委員

後期高齢者医療保険は2年に1回改定されるが、改定の内容について具体的に伺いたい。

北田福祉総務
課長

今回の保険料の改定については、被保険者均等割額が4万1,860円から4万2,440円となり、580円の上昇となります。所得割額に関しては、その割合が8.25%から8.29%までとなり、0.04%の上昇となります。所得水準に応じた保険料の軽減に関しては、2割軽減の対象となる世帯については、現金収入が238万円を超えない世帯との基準でしたが、258万円まで拡大しました。5割軽減については、現金収入が192万5,000円を超えない世帯との基準が、217万円まで拡大されました。最終的に、約1万5,500の方が何かしらの軽減の対象となり、全体的に軽減対象者の割合としては、約45%ということになっております。

城下委員

保険料が上がる人の割合も示していただきたい。

北田福祉総務

約55%の方は保険料の上昇があります。

課長

城下委員

所沢市の加入者の数について、また、保険料が軽減される方は1万5,500人程度とのことだが、上がる方の人数も示していただきたい。

北田福祉総務

課長

平成26年度においては、当初の被保険者の数を3万4,256人と見込んでいます。上がる方は、1万8,730人の見込みです。

城下委員

所沢市における後期高齢者医療保険料の平均はいくらか。

北田福祉総務

課長

平成26年度の見込みとしては、9万958円と試算しています。

城下委員

昨年度はどうであったか。

北田福祉総務

課長

昨年度の見込みでは、9万1,499円であり、541円の減額となる見込みです。

城下委員

平均保険料が6円引き下げということもあるが、この引下げに使う財源は基金か、剰余金か。

北田福祉総務
課長

剰余金を67億円あてて、保険料を抑制しました。

城下委員

今回の保険料の見直しにあたっては、基金の活用という議論はあったのか。過去には議会の中には、広域連合に対して基金を活用し保険料を引き下げてほしいといった意見を上げてほしい旨を提案した経緯もあるが、どうか。

北田福祉総務
課長

今回、医療費の上昇も見込まれることから、なるべく、高齢者の方の負担を抑制していこうという議論はあったと伺っています。その中で、この制度自体を今後も維持していくというためにも、一人あたりの保険料を現行と同じ程度に抑制することとして、その範囲内で剰余金を活用するということです。財政化安定基金については、医療費の急激な増加や保険料の収納率の低下等、予想外の事態に備えるセーフティーネットということとして温存すべきという判断で抑制にはあてないということになったと聞いています。

城下委員

広域連合に対して、基金の活用について、市としては意見を上げているのか。

北田福祉総務

保険料については、埼玉県後期高齢者医療広域連合議会において決定さ

課長

れることもありますので、そういった意見は特にはあげていません。

城下委員

一番身近なところで後期高齢者医療へ加入している方に対応する市としては、そういった声も上げていくべきであると思うが、何らかの方法もないのか。

本橋福祉部長

今回は、急激な保険料の上昇を抑制するために余剰金の67億円を取り崩すということが議会で決定されました。医療を支える制度であり、やはり第一には維持していくことが重要であると考えます。絶対に声を上げないということではありません。問題があれば、もちろん声はあげていきます。

城下委員

そもそもこの後期高齢者医療制度そのものにいろいろな課題があり、世論も大変大きくなっていくこともあるし、是非市民の立場に立ってそういった意見をあげていただきたい。そういった手段はないわけではないという理解でよいか。

美甘福祉部次
長

各自治体の後期高齢者医療を担当する部署の所属長が集まる会議がありますので、そういった場において、例えば、健康診査の項目の話等をいろいろと議論したり、会議の中で検討することもありますので、そうした機会をとらえて保険料の関係についても各自治体の意見としては述べる

ことは可能です。市としてはそういった機会をとらえて検討していきたい
と思います。

【質疑終結】

【議 事】

○議案第9号「平成26年度所沢市一般会計予算」当分科会所管部分
(福祉部①)

【補足説明】 なし

【質 疑】

城下委員

第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定業務委託料について、介護保険制度の改正が予定されているという中で、この3年間の計画にはどのような影響が出てくるのか。

仲介護保険課
長

この第6期計画については、平成27年度からの介護保険法の改正が見込まれており、要支援1・2の方々の通所介護及び訪問介護がいわゆる新総合サービスとして地域支援事業へ移行、それから、特別養護老人ホームの中重度者への重点化、一定以上の所得者の方の利用者負担の見直し、それから、補足給付の見直しといったことが行われます。そういったことを見越して、来年1年間で、3年間の保険給付量を決め、さらに保険料を算定することになります。また、地域包括ケアシステムの充実も進めることになりますので、それについても事業計画の中では盛り込んでいくことを想定しています。

城下委員

国においてもはっきりとしていない面もあるが、そういう中でも市としては計画の準備を平成26年度において行っていかなければならないと

いうことでは、平成27年度からの国の制度改正そのものが大きく変わる場合等については、どう考えているのか。

仲介護保険課
長

一番大きな目玉になってくるのは、介護予防給付の地域支援事業への移行であります。これについては、国においては、第6期の最終年度、つまり平成29年度に全ての保険者で開始することとしていますが、先行して平成27年度から移行する市町村もあるかとは思いますが、それだけの移行期間は設けられています。また、特別養護老人ホームの中重度化についても、最初よりも要介護3未満の方でも入所できるような形になってきましたので、この点についてももう少し制度の見直しがされてくると思っています。

城下委員

市の今のスタンスとしては、平成27年度、28年度については、今までとおりの内容で考えているのか。29年度の開始に合わせて計画していくという理解でよいか。

仲介護保険課
長

推進会議の中で議論していただく内容かと思いますが、現実的には、平成27年度の開始から新サービスへの移行はなかなか難しい面があると個人的には思っています。

矢作委員

老人医療費の後期高齢者健康診査委託料について、健康診査の受診率に

	ついて伺いたい。
北田福祉総務 課長	37%です。
矢作委員	去年度と比べてどうなっているのか。
北田福祉総務 課長	ほぼ横ばいです。
城下委員	はり・マッサージ施術費補助金に関し、この具体的な変更内容について確認したい。
北田福祉総務 課長	この補助金は、登録している治療院等へ月に1回500円で、2回を限度に補助を行っています。それを平成26年度は月に1回500円を限度とし補助を行うということに変更しました。
城下委員	その変更について、周知はどのように行っていくのか。
北田福祉総務 課長	はり・マッサージに関しては、過去に事業仕分けにおいても廃止と評価されましたが、その後、市としても受診機会の提供ということから存続し

ましたが、平成25年度の2次評価において廃止、見直しとの意見がありました。それを尊重し、団体への周知をする期間も必要であることから、10月からはそういった縮小を行っていこうと考えています。

城下委員

緊急通報システム委託料に関して、所沢市は非常に頑張っているということから、包括外部監査においてももっと広げてほしい旨が示されていたが、平成25年度直近の利用実績について伺いたい。また、個人負担があるが、個人負担の方や無料の方がどれぐらいいるのか。

池田高齢者支援課長

緊急通報システムの平成25年度12月末の実績ですが、利用者は1,148人です。

斎藤高齢者支援課副主幹

その内、費用負担者は86人です。利用者全体の約7.5%が費用負担者です。

城下委員

そうすると、約9割の方は無料で利用されているということか。

斎藤高齢者支援課副主幹

そのとおりです。

城下委員

平成26年度の予算については、どれぐらいの台数を見込んでいるの

	か。
斎藤高齢者支援課副主幹	平成24年度の末において、1,131台でしたので、さらに100台を加えるとともに、新規で100台を見込んでいます。
城下委員	新年度、新たに周知方法の検討を行っているのか。
斎藤高齢者支援課副主幹	新たに、専用のチラシを作成し、各まちづくりセンターに配架しようと考えています。
城下委員	介護保険低所得者等助成金について、これは、前年度と比較してどうなっているのか。
仲介護保険課長	平成25年度はまだ9カ月分ですが、旧制度の方がここで対象とならないようになってきましたので、平成24年度からの制度改正した方々だけとなってきており、金額的には下がっています。
城下委員	改正前と改正後の制度内容について伺いたい。
仲介護保険課長	改正前については、保険料が第一段階の方については、介護保険料の1割負担の2分の1を助成するものでしたが、改正後についても、同様に2

分の1です。保険料が第二段階の方については、改正前は2分の1補助でしたが、改正後は4分の1補助です。保険料が第三段階の方は3分の1補助でしたが、改正後は4分の1補助に変わっています。

城下委員

当初はこの助成金が億単位で増えるという話もあったが、今後の推移としては、このような予算で推移していくと見込んでいるのか。

仲介護保険課
長

確かに、かつては助成額が1億5,000万円を超えている年度もあり、制度改正を何回か行ってきました。しかし、全体的な利用数が増えていますので、一度このような形で下がったとしても、全体の助成額はまた増えていくものと考えています。

城下委員

過年度の対象人数は何人か。

仲介護保険課
長

平成24年度は名寄せして1,204人です。平成25年度12月末までの人数は名寄せして1,168人です。年度末までにはおそらく1,200人は超えると推計しています。

城下委員

臨時福祉給付金費について、この事業に伴う時間外が増加することであるが、どれぐらいの時間外を見込んでいるのか。

北田福祉総務
課長

4月から6月の3カ月間は繁忙であると思いますので、1人、月平均30時間で10名を想定しており、合計で900時間を見込んでいます。その後の7月から12月の給付の期間についても、1人、月平均30時間で10名を見込んでおり、1,800時間を想定しています。また、休日勤務も生じる可能性を考慮し、1日8時間勤務を10日として、10名分を見込んでいます。全て合わせ、3,500時間を見込んでいます。

【議案第9号 福祉部②所管部分質疑終了】

散 会 午後4時53分